



# 『We 鏡中』

令和8年 4月23日

## ☆≡ 「体育大会実行委員会・リーダー会議」

2. 体育大会スローガンについて

①各クラスから出された候補（各生活体育委員より）

- ・ 1-1 「勝風力心〜絆のキセキ〜」
- ・ 1-2 「みんなで協力して最後まで全力でがんばる We♡鏡中」
- ・ 1-3 「黄金時代〜光輝く青春を〜」
- ・ 1-4 「魅楽良肆団子〜みたらし団子のようにねばりつよく〜」
- ・ 2-1 「勝っても 負けても <sup>笑</sup>タイム」
- ・ 2-2 「勝利の方程式〜努力×団結〜」
- ・ 2-3 「キョット勝ッ〜砕けない友情〜」
- ・ 2-4 「獅子奮迅〜全力で勝利をてにいれる〜」
- ・ 3-1 「力戦奮闘〜自分たちの団で輝こう〜」
- ・ 3-2 「勇猛果敢〜今年の優勝、我が物だ〜」
- ・ 3-3 「百花繚乱〜個性溢れる仲間が輝く〜」
- ・ 3-4 「完全無欠〜溢れる力を解き放ち、己の限界を越えろ〜」

4/23（木）昼休みに体育大会実行委員会がありました。体育大会のスローガン決めが大きな議題でした。司会、書記も自分の役割をきちんと果たし、良い実行委員会でした。

各クラスで話し合われた、良いスローガンが沢山提案されました。生徒が体育大会を楽しみにしていて、素晴らしい体育大会にしたいという気持ちが表現されていると思います。

体育大会を成功させるには、実行委員やリーダーだけが頑張ればよいというものではありません。良いスローガン（目標）を選び、そのスローガンに一人一人が真摯に向き合うことが大切です。頑張っしてほしいです。

放課後は、初めてのリーダー会議がありました。私はその時間帯にお客様があり、参加できなかったのですが、後で聞くと、寶藏寺教諭から「それがリーダーとしての態度なのか」と叱責されたようです。また、リーダー会議後の生活保体部会（実行委員会の主体）では、リーダー会議の運営者としての自覚について、松本教諭から指導されていました。自分たちの体育大会を自分たちで運営するのだという気持ちを、全ての生徒が持ってくれればと思います。「We Love ♡ 鏡中」の実現のためには「気づき 考え 行動する」ことが一番大切なことです。体育大会を成功させ、「We Love ♡ 鏡中」を実現するために、リーダーはリーダーとして何が出来るか、実行委員として何が出来るか、全ての生徒が自分に何が出来るかに向き合っほしいと思います。

## ☆≡ 「今朝の登校時に感心しました」（「心づかい」に「心づかい」で…）

今朝（4/23）登校時、数分遅刻をしてきた生徒（何かしらの理由があったのでしょうか）がいました。私は、挨拶運動・交通指導を終えて校舎玄関に入ってカッパを脱いでいるところでした。玄関内からたまたまその遅刻してきた生徒が横断歩道を渡ろうとしているところが目に入りました。生徒が横断歩道前に近づくと通っていた自動車が停止し、その生徒を横断させてくれました。その時、その生徒は、止まってくださった運転手さんに、道路を横断する前にペコリと頭を下げ、急いで横断し、横断し終わると振り向いて深々と頭を下げていました。その姿が清々しかったので感心しました。自動車を運転する立ち場になれば、横断歩道で渡ろうとする人がいれば、その手前で止まることは「当たり前」（法的にも）ですが、そのことが自然にできる姿に感心しました。（鏡中にはこのようにできる生徒が多数います。）鏡中の生徒一人ひとりが鏡中の看板を背負っています。保護者や教職員の目がなくてどんな行動が出来るかが問われています。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」（みのるほどこうべをたれるいなほかな）という言葉がありますが、自動車が止まって「当たり前」とされることでも「有難い」と感じ、その「心づかい」に「心づかい」で返せることができるよう、生徒とともに頑張らねばと思っています。